



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 1 月 29(土)

まち灯り準備・ろうそくづくり 編

1 月 29 日、子ども館で廃食油を利用したろうそく作りが行われました。スギ灯りに入れるろうそくを子どもたちに作ってもらい、まち灯りにも参加してもらおうというものです。

親子で楽しくできるため、毎回大好評。今回も午前と午後 2 回行われたのですが、親子連れはもちろん、三種町から廃食油持参でお手伝いに来てくれた方、能代第一中学校の生徒さんがボランティアで参加など、だんだん広がりが出てきてうれしいですね。

スタッフとして大活躍の黒松友の会の方々、すみれ会のお手伝いをしてくれる方も来てくれました。木高研の佐々木靖先生たちも廃食油から BDF を作る実験をさせていただきます。子どもは「じっけん」が大好き。始まる前から興味津々でわくわくしています。

寺内館長さんの説明でろうそく作りが始まりました。①廃食油を使ったろうそくを作ることが環境のためになるということ。②間伐材を利用したスギあかりにろうそくを灯すことで、能代を明るくしよう。ということ、わかりやすくお話してくれます。子どもたちは真剣に聞いて、さっそく作り始めます。

手順は、鍋に廃食油を入れて 80 度まで温め、凝固剤を入れてからカップに注ぎ、芯を入れて固めて完成です。子どもたちにはカップに廃食油を注ぎ、芯を入れてもらいます。スタッフは子どもが火傷しないよう見守りながら、ゆっくりでも子ども自身にやってもらいます。小さくてもすぐに上手にできるようになるんです。芯は上町の人が改良を重ねて 500 ヶも作ってくれました！ありがたいですね。

BDF の実験を体験しているうちにろうそくが固まり、最後にスギあかりに入れて火を灯すと歓声があがり、みんなで拍手です！子どもたちは「楽しかった！」と言いながら、おみやげの色ろうそくをもらって大満足で帰って行きました。まち灯りには、自分で作ったろうそくを見にきてくれることでしょう。

おみやげ用の色ろうそくは、すみれ会がお寺からいただいた使用済みろうそくで、子どもに喜んでもらうように色あいても工夫して作りました。ABS ラジオの取材があったり、NHK ニュースで紹介されたり、新聞の記事になったりと報道の方々にも随分と協力してもらいました。おかげで、まち灯りを待ち望む声が聞こえてきましたよ。当日は BDF で走るエコバスも運行されますので、ろうそくの灯りとともに能代のまちを楽しんで下さいね。

文： 平山 はるみ



寺内館長さんのお話にも子どもおとなもあつという間にひきつけられます。



手袋ばかりかゴーグルもつける BDF 作製実験はいつも大人気です。これでエコバスが走るなんて不思議ですね。



手順の中のどんな作業も、どの子どもみんな面白そうに一糸懸命やってくれます。



暗くした室内に灯りがともると、子どもおとなからも拍手！でした。



帰り際には家族みんなの分のお土産用ろうそくとエコバスケットが渡されました。